

仲間とのつながりを深める取組を柱とした活動プラン

時期	形態	主題	内容	備考
4月当初の児童が不安を感じているとき	＜新しいクラスに対する児童の不安を軽減させるために、1学期当初に自己紹介と【授業1】を実施する＞			
	年度当初	自己紹介	・自己紹介による仲間づくり	自己紹介を通して不安を軽減するとともに、1年間の学級生活に希望が持てるよう意識させる
	授業1	うまく仲間に入ろう (全学年)	・児童同士をつなぐ仲間づくり ・主体的に仲間に入るスキルや思いやりの態度を育む (コミュニケーション能力、思いやりの表現力)	自分はこのクラスの一員であるという意識を児童が持てるようにする 中学年以上で行うときは「どんな風に言うと相手が嬉しいと思うか」など、相手の立場に立って考えさせる問いかけを行うことで効果を高める
	＜【授業1】で自分がこのクラスの一員であるという感覚・意識を持たせた上で、【授業2】を実施する＞			
授業2	自分の木 (全学年)	・自然とのふれあいの中で、自分を見つめ直す経験をすることで、自尊感情を高める ・友だちと語り合い、共有する体験を通して、思いやりの心を育む (自尊感情・自己効力感、思いやり・他者理解)	活動を通して、児童が語り合う場を設定する 児童同士の関わりを増やすことで、風通しのよい学級づくりを心掛ける 屋外で行うことが望ましいが、屋内で実施する場合は、「自分の木」の代わりに教室内の「自分の好きなもの」に変更することも可能である	
学活	個人目標の設定 学級目標の決定 係活動の決定	・個人目標の設定と学級目標の設定 ・一人一人の役割を明確にし、自分のやるべきことが分かる係活動の設定	【授業1・2】を振り返りながら、明確な個人目標・学級目標や一人一人の係活動の目標を設定させることで、学級集団として全員を同じベクトルに向かわせ、クラスとしての意識を高めることにつなげていく	
	学校生活(教室・授業)のルールの確認	・児童が「安心・安全」に過ごせるルールの確認	児童が「安心・安全」に学校生活を送るために、分かりやすいルールを設定し確認する	
大型連休明けでクラスの落ち着きがなくなったり感じるとき	＜大型連休明けで児童が落ち着かないときに学級活動や【授業3】を実施する＞			
	学活	席替え	・様々な友だちと関わる機会を通して、一人一人の居場所づくりを行う	学級の実態に応じて席替えの方法を考える
	授業3	ねえ聞いて (低学年・中学年)	・あるがままの自分や友だちを受容するクラスづくり ・援助の必要性を体験的に学び、信頼関係を築く (相談・支援を求める力、思いやり・他者理解)	大型連休後、児童は不安な気持ちで登校することが予想されるため、ゆったりと落ち着いた雰囲気の中で行うように留意する ロールプレイをすることで、「困ったときには、いつでも助けてくれる人がいる」という感覚、意識を持たせ、信頼関係を築く
授業3	私の大切な仲間へ (中学年・高学年)	・幅広い友人関係の形成 ・思いやりの心を育てるとともに、仲間を支え合える安心感を醸成する (思いやり・他者理解)	元気がない友だちに声をかける経験を通して、自身が辛いときにも相談や支援を求めることへの抵抗感を小さくさせることをねらいとしている 児童一人一人がクラスの友だちを信頼し、安心感を実感できるよう促す	

(授業の概要)

番号	授業名	授業の概要	主な資料等
授業1	うまく仲間に入ろう	①「クマとあなぐら」ゲームをする ②言われたら嬉しい言葉を考える ③②を意識させてもう一度「クマとあなぐら」ゲームをする ④クラス内で発表し合う	
授業2	自分の木	①「自分の木」を見つける活動を行う ②ペアで「自分の木」を紹介し合う ③ペアの「自分の木」を探しに行く ④クラス内で発表し合う	<ワークシート> じぶんの木をさがそう
授業3	ねえ聞いて	①最近あった困ったことを想起し、その時周りがどうしてくれたか、どうして欲しかったかを発表する ②「困ったカード」を用いて、ロールプレイを行う ③困ったときに助けてくれる人が周りを知り、クラス内で発表し合う	<ワークシート> ①ねえ聞いて ②困ったカード
授業3	私の大切な仲間へ	①自分が悩んだり困ったりしたときに友だちに元気づけられた場面を想起する ②元気がない友だちをイメージして絵や文字で表し、かけてあげる言葉を考える ③友だちにかける言葉を発表し合い、印象に残った言葉を交流する	<ワークシート> やさしいことばでたすけあおう!